

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Rotary club presidents and secretaries



インスピレーションになるう

ガバナー月信 Vol.7

国際ロータリー第2840地区〈群馬〉2018-2019年度

職業奉仕月間



2019 01

宮内ガバナー事務所
群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL 027-212-2840
FAX 027-212-2841

目次

ガバナーメッセージ	01
バリー・ラシンRI会長メッセージ	03
RLIセミナー PartⅢ	05
第36回 茶の湯研修会の開催	07
米山記念奨学生選考会面接官オリエンテーション・ 米山学友会忘年会	08
オンツアー・ハンブルクのご案内	09
2018年決議審議会 結果報告	11
クラブ寄稿 藤岡ロータリークラブ	16
ぐんま経済新聞掲載企画について	18
年間行事予定表	20
周年行事予定クラブ	22
新会員紹介	23
文庫通信	24
出席報告	25
コラム	26
森田ガバナーエレクトからのお知らせ	32
(森田年度)第1回ガバナー補佐会議	33
ハイライトよねやま	34
ガバナー事務所よりお願い	36

ガバナーメッセージ

国際ロータリー 第2840地区
2018-2019年度ガバナー
宮内 敦夫

RI特別月間テーマ：「職業奉仕」

頌春 新年明けましておめでとうございます。

昨年中はたいへんお世話になりました。お陰さまで2018-19ガバナー年度の前半を終わることができました。残る任期中も倍旧のご指導ご協力をお願い申し上げます。微力ながら最善を尽くして職務を果たす所存でございます。

わたしは後期高齢者になった昨今、冬の日の短さと同様、人生の終焉へ向かっての時の流れの速さを感じます。また、人生の将来より過去を一層考えるようになりました。もし、ロータリークラブに入会せず、老後をのんびり過ごそうとしていたら、今頃、孤独で退屈な日々を過ごしていただろうと思います。ロータリークラブのお陰で、自クラブにとどまらず、広く群馬県、日本各地、世界に友達を作ることができました。誠にありがたいことでもあります。ロータリーバッジを付けているだけで心を開いて会話ができます。単なる「知人」を超えて即く「仲間」Fellowであります。ロータリーでは親睦(Fellowship)と奉仕(Service)だと申しますが、その通りであります。老境に入っても寂しさを感じずにいられるのはロータリーのお陰でありまして誠にありがたいことでもあります。

盲亀浮木の譬え

私たちがよく使う「ありがとう」は漢字で書けば、「有難う」となります。“ありがとう”“ありがたいこと”は、実は仏教に由来する言葉です。もともとなった話を紹介しましょう。



お釈迦さまがある時、博学随一の阿難(あなん)という弟子に、「そなたは、人間に生まれたことをどのように思うか？」と尋ねられた。「はい。大変喜んでおります」と阿難は答えた。お釈迦さまが、「では、どれくらい喜んでいるか？」と重ねて尋ねると、阿難は答えに窮しました。すると、お釈迦さまは、一つの例え話をされた。これは今日「盲亀浮木の譬」(もうきふぼくのたとえ)と言われている話です。

——「果てしなく広がる海原の底に、目の見えない亀がいる。その亀は、100年に1度、海面に顔を出すのだ。広い海に1本の丸太棒が浮いている。その丸太棒に、亀の頭が入るほどの小さな穴があいている。流木は、風に吹かれ波に揺られて、西に東に南に北に漂っている。阿難よ。100年に1度浮かび上がるその盲目の亀が、海面に浮かび上がった拍子に、丸太棒の穴に首を突っ込むことが有りうると思うか？」

このように聞かれた阿難は驚いて、「お釈迦さま、そんなことは、とても考えられません」と答えた。「絶対にない、と言い切れるか？」と、お釈迦さまが念を押すと、「何億年×何億年、何兆年×何兆年の間には、ひょっと頭を入れることがあるかもしれませんが、無いと言ってもよいくらい有り難いことです」と阿難は答えた。「ところで、阿難よ。私たちが人間としてこの世に生まれることは、その亀が、丸太棒の穴に首を突っ込むことが有るよりも、もっと難しいことなんだ。“有難い”ことなんだよ」と悟されたのです。——

「有り得ない」、即ち、確率ゼロではなく、「有ることが難しい」、即ち、確率が非常に低い、ということが、「有り難い」の語源であります。広く、多業種のたくさんの友人と一期一会の出会いをして親交を結べることは、ロータリーならではの特典で、正に「ありがたい」ことであります。

「職業奉仕」月間に寄せて

今月は「職業奉仕」Vocational Service月間であります。過日11月18日～21日、神戸ポートピア・ホテルで、第47回ロータリー研究会が開催されました。バリー・ラシンRI会長、2015-19年度ロータリー財団管理委員マリオ・セザール・デ・カマルゴ氏、2018-19年度ロータリー財団管理委員長ロン・D・バートン氏が来られました。ラシン会長は、講演の中で、職業奉仕に関して、次のように申されました。(森田高史GEのメモ)

1. 職業奉仕はロータリアンのDNAに入っているもので大変大切であり、今後ともなくすことはない。
2. 職業分類は今後とも堅持する。
3. 「四つのテスト」を遵守して高潔性を堅持する。

職業奉仕は、ご承知の通り五大奉仕(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)の一つです。「職業奉仕」というと、自分の職業の技能・知識や会社の設備・機材・人材を使って社会に奉仕することかと思われそうですが、そういう局所的なことではありません。

ロータリーでの諸活動を通じて養成された「奉仕の心(理想)」(真のロータリアンとして人格)を職業の基礎に置いて、自分の職業の倫理性を高め、職業を通じて広く社会に貢献することです。そのチェック・テストが「四つのテスト」です。有益な事業・職業の基礎に奉仕の心を据えることは、とりもなおさずロータリーの目的であります。

【「ロータリーの行動規範」 手続要覧P.63参照】

自分の職業に誇りを持って励み、事業を繁栄させ、従業員とその家族の生活を守り、顧客を満足させ、業界に、ひいては社会に少しでも貢献でき、これが職業奉仕だと思います。

バリー・ラシンRI会長メッセージ

年末年頭に寄せて



Barry Rassin

President, 2018-19

T +1.847.866.3235

F +1.847.866.3390

barry.rassin@rotary.org

親愛なる友人、ロータリーリーダー、ローターアクトリーダーの皆さまへ

年末を迎え、本ロータリー年度もほぼ半ばとなりましたが、今年度の目標達成に向けてクラブでの取り組みが順調に進んでおられることを願っております。この時期は、前半期の活動を振り返り、今後になすべきことを考えるよい機会となります。

年末はまた、感謝の気持ちを新たにし、恵まれない人びとに手を差し伸べる季節でもあります。「ロータリー グローバル リワード」でお買い物をすれば、特定の商品やサービスの購入金額の一部をロータリーに還元することもできます。

rotary.org/ja/globalrewardsから商品やサービスをご覧ください。このプログラムは、「[Rotary Global Rewards](#)」のアプリをダウンロードしてスマートフォンや携帯機器からもご利用いただけます。

12月5日のシカゴ時間午前10時(日本時間12月6日午前1時)から、Facebook Live(フェイスブックでの動画中継)を行い、ローターアクトに関する質問に私がお答えします。ご存知のように、ローターアクトは私とロータリーにとってこの上なく大切な存在であり、ローターアクト会員数を2倍に増やすことが今年度の私たちの目標です。今年、私が訪れたすべての国で、非常に多くの熱心なローターアクトに出会いました。そのたびに私は、ローターアクトたちのエネルギーと率先きに心を動かされました。ローターアクトおよび今後の行事や取り組み(大会前会議など)についてご質問がある方は、[Facebook](#)からぜひお寄せください。



年末年頭に寄せて

大会前会議といえば、ハンブルグで開催されるロータリー国際大会への出席登録はお済みでしょうか。2019年6月、世界中のロータリアンとローターアクターが、一生の思い出をつくるためにドイツに集結します。ハンブルグは、友情と奉仕のために集い、インスピレーションを与え合い、新しい友人をつくるのに理想的な場所です。国際大会の常連だという方々には、ハンブルグでお目にかかれるのを楽しみにしています。まだ国際大会に出席したことのない方は、このメッセージを私からの招待状だと思っていただければ幸いです。12月15日までにriconvention.org/jaから登録すれば、早期割引が利用できます。今大会が皆さまのインスピレーションの源となることを願っています。

心を込めて

2018-19年度国際ロータリー会長
バリー・ラシン

受信者リスト：地区ガバナー、ガバナー補佐、クラブ会長、
地域リーダー(RPIC、RRFC、EMGA、RC)、RI理事 各位

ONE ROTARY CENTER
1560 SHERMAN AVENUE
EVANSTON, ILLINOIS 60201-3698 USA
ROTARY.ORG

RLIセミナー PartⅢ

開催日：平成30年11月25日(日) 9:30～17:00

場 所：前橋問屋センター会館2F

報告者：地区副幹事 山本 樹

司会：RLI推進委員会委員 田部井 丑松

ディスカッションリーダー21名、受講者53名で行われました。

開講式では宮内敦夫ガバナー挨拶、竹内正幸地区研修リーダー挨拶・趣旨説明をいただいた後に、RLI日本支部ファシリテーション委員会副委員長、本田博己パストガバナーによりプロジェクターを使用しながらガイダンスをしていただきました。

その後、6つのセッションに分かれ、RLIセミナーPartⅢが開始されました。第1セッションでは「効果的なリーダーシップ戦略」第2セッションでは「私たちがロータリーを変えるー規定審議会」第3セッションでは「公共イメージと広報」第4セッションでは「ロータリー財団Ⅲ国際奉仕」第5セッションでは「ロータリーの機会」第6セッションでは「変化をもたらす」のテーマでローテーションをしながら6時限のセミナーが行われました。

どのセッションの会場でも熱のこもったディスカッションがされていました。

すべてのカリキュラム終了後閉講式が行われ、53名にPartⅢの修了証が授与、全Part修了者34名にバッジの授与がされました。受講者は2018-2019年度RLIセミナーを最後まで修了したことの充実感で皆さん晴々しい顔をしていました。

研修委員会副委員長田中久夫パストガバナーの閉会挨拶でRLIセミナーの全カリキュラムが終了となりました。

受講者は、アンケート記入、評価書を提出したのち解散となりました。受講された皆様、3日間大変お疲れさまでした。



開講式



第1セッション



第2セッション



第3セッション



第4セッション



第5セッション



第6セッション



全Part終了者バッチ授与



PartⅢ修了証授与

第36回 茶の湯研修会の開催

開催日：平成30年12月1日(土) 11:00～13:00
場 所：茶寮「いま泉」(みどり市笠懸町阿左美)
席 主：世話人代表PG 森田 均 および世話人
参加者：25名

ガバナー 宮内 敦夫

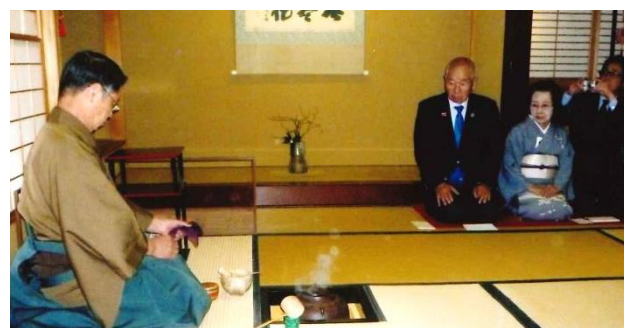
地区茶の湯倶楽部主催の第36回茶の湯研修会が料亭の小森の色づいた紅葉はらはらと散る中、清楚な茶寮で開かれました。屋外の眩光は障子に仕切られて心静まるほの明かりの茶庵、茶釜から立ちのぼる湯気しろく、茶釜の音かすかに聞こゆるわれら客人は一服の茶を心静かに頂きました。茶をたててくださいました近藤様(前橋東RC)、結構なお点前でございました。

茶室に入る前に別室で、森田均PGから、ロータリーの友情に因んで、中国の歴史に残る友情の物語のお話をいただきました。

①伯牙と鍾子期の友情「知音(ちいん)」 ②管仲と鮑叔(ほうしゅく)の「管鮑の交わり」③陳重と雷義の「膠漆(こうしつ)の交わり」④藺相如(らんそうじょ)と藺頗(れんぱ)の「刎頸(ふんけい)の交わり」⑤伯夷(はくい)と叔齊(しゅくせい)の兄弟愛。

「刎頸の交わり」より「刎頸の友」の方が馴染みがあります。その友人のためなら首をはねられても悔しくはないと思うほどの親しい交わりのこと。春秋時代、趙の將軍廉頗は、功績により自分より上位になった名臣藺相如を恨んだ。しかし相如は二人が争いにより共倒れになることを懸念し、国のために争いを避けるつもりでいた。それを聞いて廉頗は自分の考えを恥じ、深く反省し、相如へわびに出かけて刎頸の交わりを結んだという故事による。(『史記』)ロータリアンは同胞意識(Fellowship)に根ざす友情で結ばれています。A friend in need is a friend indeed.(まさかの友こそ真の友)と言えます。

最後に、参加者一同談笑の中美味しい会席料理をいただいて散会となりました。



米山記念奨学生選考会面接官オリエンテーション ・米山学友会忘年会

開催日：平成30年12月9日(日)
場 所：ホテルメトロポリタン高崎
報告者：地区副幹事 小池 敏郎



米山記念奨学生選考会面接官オリエンテーションの後、学友・奨学生・カウンセラー達を交えての米山学友会忘年会が、ホテルメトロポリタン高崎にて学友会主導で盛大に行われました。イーカリーカレン学友会長が「皆さんで東京オリンピックのボランティアに登録しましょう」との挨拶で会が始まり、懇親の輪のなか例年通り学友会・奨学生一人ひとりから近況報告を頂きました。また今年は、全員がテーブルごとに思いおmoiの姿で写真を撮り、ユーモアある写真を投票で選び一位の組には記念品が贈られました。最後のビンゴゲームでは山田邦子ガバナーノミニーが最初のビンゴになり大変盛り上がりました。

皆さん来年も良いお年を！

オンツアー・ハンブルクのご案内



ROTARY CONVENTION
1-5 JUNE 2019
HAMBURG, GERMANY

2018年12月22日
国際ロータリー第2840地区
2018-2019年度
ガバナー 宮内 敦夫
公共イメージ委員長 槻岡 行支
(オン・ツアー・ハンブルグ)



2840地区として、国際大会参加の旅程が概ね、決まりましたので、ご案内させていただきます。
詳しいお問い合わせは、槻岡委員長または関井担当地区副幹事あてにご連絡ください。

連絡先 槻岡委員長 090-2524-7411

関井副幹事 090-9314-4435

皆様方のたくさんのご参加をお待ち申し上げます。



友愛の家



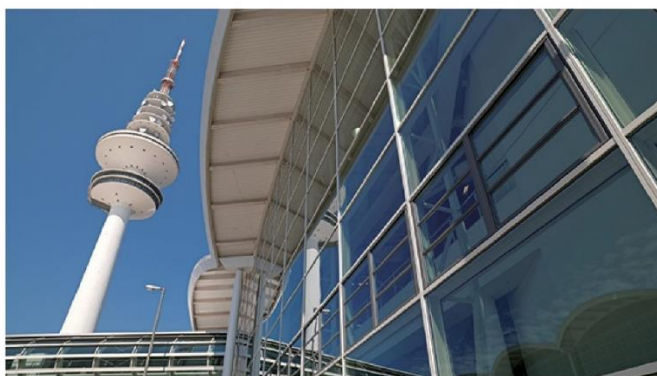
歴史と現代文化が入り混じった港町ハンブルグ。
気さくな人びとと充実したエンターテイメントが、
美しいこの町をさらに特別なものとしています。
あなたもここで一生の思い出をつくりませんか。

ハンブルグ・メッセ (Hamburg Messe)

Messeplatz 1

20357 Hamburg, Germany

本大会の本会議、分科会、友愛の家は、ハンブルグ・メッセで行われます。





日程表 ハンブルグ6日間

日次	月日(曜)	地名	現地時刻	交通機関	スケジュール	食事
1	2019年 5月31日 (金)	空 羽 田 港 ウ ィ ー ン 着 ウ ィ ー ン 着 ハンブルグ 発	01:20 06:00 07:15 08:45	航 空 機 航 空 機 専 用 車	集合:5月30日 23:00 となります。 空路、ヨーロッパ内にて乗継、ハンブルグへ 着後、ハンブルグ市内観光 (ハンブルグ市庁舎・ハンブルグ市立美術館・聖ミハエリス教会など) ＜ハンブルグ泊＞	朝：機内 昼：○ 夕：○
2	6月1日 (土)	ハンブルグ		専 用 車	午前:国際大会会場視察(登録キッド受取)約1時間予定 視察終了後: プレーメンまたはリュエベックへ観光 ＜ハンブルグ泊＞	朝：○ 昼：○ 夕：一
3	6月2日 (日)	ハンブルグ		専 用 車	朝:日本人朝食会(自由参加) 午前または午後:国際大会本会議参加 *大会会場 午前または午後:ハンブルグ市内観光(大会の時間に合わせて調整します) 夕食:地区ナイト夕食会 ＜ハンブルグ泊＞	朝：○ 昼：○ 夕：○
4	6月3日 (月)	ハンブルグ		専 用 車	終日:プレーメンまたはリュエベックへ観光 ＜ハンブルグ泊＞	朝：○ 昼：○ 夕：一
5	6月4日 (火)	ハンブルグ 発 ウ ィ ー ン 着 ウ ィ ー ン 着	朝 07:45 09:15 12:55	専 用 車 航 空 機 航 空 機	チェックアウト後、空港へ 空路、ヨーロッパ内にて乗継、東京(成田または羽田)へ ＜機中泊＞	朝：一 昼：一 夜：機内
6	6月5日 (水)	羽 田 着	06:55		通関後は自由解散	朝：機内

概算料金

・ご利用ホテル

* **Arcotel Rubin**

注) ホテル予約には100%の予約金がかかります。

ご旅行代金 :468,000円

- ・シングル利用時追加代金 :125,000円程度
- ・ビジネスクラス利用時追加代金 :500,000円程度
- ・プレミアムエコノミー利用時追加代金 :250,000円程度

上記料金に含まれるもの：

- ①別紙日程表に明示した航空運賃・貸切バス代
- ②上記ホテル代(ツイン利用)
- ③添乗員1名同行
- ④燃油サーチャージ
- ⑤空港税

上記料金に含まれないもの：

- ①傷害保険
- ②渡航手続き代金
- ③パーティー代及び飲み物代(地区ナイトは@10,000円別途予定)
- ④大会登録代

2018年決議審議会 結果報告

地区審議会立法案検討委員会
委員長 曾我 隆一(前橋RC)

先日、各クラブへ速報という形でお知らせ申し上げましたが、10月15日から11月15日の間オンラインにて実施されましたRIの決議審議会(COR=Council On Resolution)の結果をご報告いたします。

提案されました決議案の総数は世界中から55件あり、その中で日本からは23件(42%)を占め、当地区からは5件提出いたしました。

結果、採択となりましたのは世界で27件(49%)、日本は12件が採択となり、当地区からは5件中4件が採択となり、最高の採択率となりました。

今後、これら採択された決議案が来年2019年1月のRI理事会で審議され、対応措置が方向づけされますので、今後とも注視していきたいと思っております。以下、投票結果の一覧をご覧ください。

【 2018年決議審議会(15-Oct ~ 15-Nov)結果速報 】

案件番号	決議案のタイトル	投票総数と結果
18R-01	ロータリーの目的における奉仕の重要性を再確認することを検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 286 い い え : 213
18R-02	中核的価値観の順序や解説を採択当初の表現に戻すことを検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 275 い い え : 224
18R-03	ロータリーの基本原則の研究と教育の活動状況を開示することを検討するようRI理事会に要請する件	不採 択 は い : 206 い い え : 285
18R-04	クラブが順守しなければならない事柄とクラブ裁量に委ねられる事柄に関する手引きを提供することを検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 287 い い え : 208
18R-05	クラブによる「四つのテスト」の掲示を推奨するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 274 い い え : 222
18R-06	ロータリークラブ・セントラルへのクラブデータの正しい入力方法を説明する手引きの発行を検討するよう国際ロータリー理事会に要請する件	採 択 は い : 278 い い え : 219
18R-07	ロータリークラブ・セントラルにおける必須データ項目の指定を検討するよう国際ロータリー理事会に要請する件	不採 択 は い : 217 い い え : 278



案件番号	決議案のタイトル	投票総数と結果
18R-08	ボランティアの総時間数を報告することをクラブに認めることを検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い：270 いいえ：224
18R-09	クラブが地元で取り組む分野を推奨することを検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い：114 いいえ：384
18R-10	クラブの加盟終結前にクラブの義務遂行状況に関する報告の要請を検討するよう国際ロータリー理事会に要請する件	採 択 は い：340 いいえ：158
18R-11	新クラブの設立に必要な最低会員数を削除することを検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い：169 いいえ：328
18R-12	新しいクラブのスポンサーとなるのに必要な最低会員数を減らすことを検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い：191 いいえ：306
18R-13	一つの性別に限定したクラブを廃止する規定を、将来の規定審議会に対して提案することを検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い：132 いいえ：369
18R-14	ロータリー章典における地区委員会委員長の選考基準の修正を検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い：235 いいえ：257
18R-15	地区のインターネットコミュニケーションオフィサーの役職を正式に認めることを検討するよう国際ロータリー理事会に要請する件	採 択 は い：319 いいえ：177
18R-16	地区幹事の役割および責任の承認を検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い：328 いいえ：170
18R-17	ロータリアンの事業と職業において職業奉仕を強調することを検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い：278 いいえ：218
18R-18	地区職業奉仕委員会を設置することを検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い：228 いいえ：265
18R-19	職業奉仕セミナーの開催を地区に義務づけることを検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い：157 いいえ：332
18R-20	ロータリー章典における地区委員会の記載順序の変更を検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い：151 いいえ：342
18R-21	積極的平和の定義の採用を検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い：242 いいえ：254

案件番号	決議案のタイトル	投票総数と結果
18R-22	平和公園を国際ロータリーの正式なプログラムとすることを検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い : 100 いいえ : 391
18R-23	EarlyActクラブの承認を検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い : 192 いいえ : 301
18R-24	「ロータリーキッズ」の正式承認を検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い : 182 いいえ : 312
18R-25	ローテックスをRIの常設プログラムとして正式に承認するよう検討することをRI理事会に要請する件	不採択 は い : 196 いいえ : 299
18R-26	地区レベルでのROTEXの会合開催の価値を認めることを検討するよう国際ロータリー理事会に要請する件	不採択 は い : 228 いいえ : 266
18R-27	ローターアクト、インターアクト、およびインナーホイールクラブが rotary.org上でウェブページを維持できるようにすることを検討するよう国際ロータリー理事会に要請する件	採 択 は い : 274 いいえ : 220
18R-28	該当地域（ゾーン）のロータリー雑誌に各理事が理事会関連の活動を掲載することを義務づけることを検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 287 いいえ : 210
18R-29	次期RI会長の方針とテーマを10月に発表することを検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い : 124 いいえ : 372
18R-30	ロータリーでの女性会員の促進を検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 322 いいえ : 176
18R-31	女性、若いリーダーおよびさまざまな人種や民族の人のびとが地区、ゾーンおよびRIで指導的役割を果たす機会を増やすことを検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 304 いいえ : 192
18R-32	性的虐待およびハラスメントに関連する国際ロータリーの規定の拡大を検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 335 いいえ : 162
18R-33	RI戦略計画の改定にロータリアンが直接参加できるようにすることを要請するようRI理事会に要請する件	不採択 は い : 217 いいえ : 282
18R-34	地域単位的意思決定機関の設立を検討するようRI理事会に要請する件	不採択 は い : 145 いいえ : 350
18R-35	ロータリー代表ネットワークの任務に変更を加えることを検討するよう国際ロータリー理事会に要請する件	不採択 は い : 132 いいえ : 353

案件番号	決議案のタイトル	投票総数と結果
18R-36	旧デザインのロータリー徽章を復活させることを検討するよう国際ロータリー理事会に要請する件	不採択 はい：150 いいえ：349
18R-37	各理事会後に公式言語にてロータリー章典を発行し、改定版に編集上の印を追加することを検討するようRI理事会に要請する件	採択 はい：274 いいえ：224
18R-38	ロータリー財団管理委員会の構成の見直しを検討するよう国際ロータリー理事会に要請する件	採択 はい：316 いいえ：179
18R-39	ポリオ撲滅活動に続く世界的プログラムとして、アルツハイマー病／認知症の研究を採択することを検討するようRI理事会に要請する件	不採択 はい：131 いいえ：365
18R-40	国連の持続可能な開発目標を支援するため、重点分野を見直すことを検討するよう管理委員会に要請する件	不採択 はい：147 いいえ：352
18R-41	重点分野に環境保護を追加することを検討するよう管理委員会に要請する件	採択 はい：280 いいえ：219
18R-42	環境が疾病に与える影響について評価することを検討するようロータリー財団管理委員会に要請する件	不採択 はい：192 いいえ：304
18R-43	ロータリアンの子、孫、およびその配偶者が財団の奨学金／補助金を受ける資格が得られるよう検討するよう財団管理委員会に要請する件	不採択 はい：200 いいえ：296
18R-44	芸術と文化のグローバル補助金を承認することを検討するよう管理委員会に要請する件	不採択 はい：156 いいえ：341
18R-45	平和と紛争予防／紛争解決の分野においてローターアクターへの資金提供が可能となるようグローバル補助金の方針を改訂することを検討するよう財団管理委員会に要請する件	採択 はい：257 いいえ：239
18R-46	地区補助金とグローバル補助金への地区財団活動資金の配分の変更を検討するよう管理委員会に要請する件	採択 はい：256 いいえ：237
18R-47	地区補助金に使用可能な地区財団活動資金（DDF）の増額を検討するよう管理委員会に要請する件	採択 はい：312 いいえ：186
18R-48	地区補助金をより柔軟に使用するため補助金モデルの変更を検討するよう管理委員会に要請する件	採択 はい：304 いいえ：195
18R-49	マイクロファイナンスおよび地域社会の発展に取り組む機関への投資を検討するようRI理事会および管理委員会に要請する件	不採択 はい：160 いいえ：335

案件番号	決議案のタイトル	投票総数と結果
18R-50	人頭分担金の増額に関する立法案を規定審議会に提出する場合、その根拠となるデータを提供することを検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 367 いいえ : 133
18R-51	規定審議会をオンラインで開催しないことを検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 314 いいえ : 181
18R-52	規定審議会をビデオ収録することを検討するようRI理事会に要請する件	不採 択 は い : 190 いいえ : 301
18R-53	2019年度の規定審議会に向けて国際ロータリー定款第10条第6節（「採択された決議」）の規定の復活を提案することを検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 281 いいえ : 212
18R-54	RI組織規定の改訂文書の変更箇所に削除線・下線を追加することを検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 285 いいえ : 214
18R-55	ロータリーの方針と手続きの簡潔な概要を「手続要覧」に再び盛り込むことを検討するようRI理事会に要請する件	採 択 は い : 337 いいえ : 158

クラブ寄稿 藤岡ロータリークラブ

藤岡ロータリークラブ活動報告《第19回少年少女合唱団群馬県フェスティバル》

第19回少年少女合唱団群馬県フェスティバル実行委員長 小暮 満

第19回少年少女合唱団群馬県フェスティバルが、本年も藤岡市・みかぼみらい館において、宮内敦夫ガバナー、新井雅博藤岡市長をお迎えして盛大に開催出来ました。

この合唱フェスティバルは、県内各少年少女合唱団の発表と競演によって歌唱力など資質の向上を図ること、そして群馬の音楽文化の充実・発展に寄与すること、併せて青少年の健全育成に資することを目的としております。このような理念を基本とし回を重ねるごとにレベルアップが図られ、今年も昨年に増して充実した内容で行うことが出来ました。

宮内敦夫ガバナーの方針の中に「地域に貢献するロータリー活動を促進し、社会からの認知度を高めましょう。」とあります。このようなことから、意義ある合唱フェスティバルを継続してきて本当に良かったと思っております。これも当クラブのロータリアン一人ひとりが、高潔で、奉仕の志があったからこそ、長期にわたり継続してこられたと思っております。

宮内敦夫ガバナーには開演から最後まで御臨席いただき、全体合唱では我々と一緒に御登壇して合唱していただき、誠にありがとうございました。宮内敦夫ガバナーそして関係者各位に、心から感謝と敬意を表し御礼申し上げます。

日時：2018年12月2日(日)開演12：30

参加合唱団

第1部

安中市少年少女合唱団
渋川市少年少女合唱団
沼田ユネスコ少年少女合唱団
孺恋少年少女合唱団
おおた芸術学校合唱科
藤岡地方ユネスコ少年少女合唱団
館林市少年少女合唱団
高崎市少年少女合唱団
前橋市児童文化センター合唱団
おおた芸術学校附属合唱団「コールエンジェル」

第2部 ゲスト合唱団

藤岡市立神流小学校合唱部
藤岡市立小野小学校合唱部
高崎市立京ヶ島小学校
藤岡市立小野中学校
群馬大学教育学部附属中学校

第3部 講評・記念品贈呈・全体合唱





ぐんま経済新聞掲載企画について

ガバナー 宮内 敦夫
公共イメージ委員長 槻岡 行支

拝啓 新春の候、皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、先般各クラブへお知らせ及びご依頼をさせて頂きましたが、本年度も群馬経済新聞様のご協力を頂き、前年度に引き続き、ぐんま経済新聞に毎週、地区内45クラブのクラブ紹介を掲載させて頂きます。


掲載要項と掲載予定を再度お知らせさせて頂きますので、ご確認下さいますようお願いいたします。

尚、本年度は月信の紙面上で掲載面のご紹介ができませんので、掲載面は毎週木曜日発行の「ぐんま経済新聞」でご確認頂けますようお願いいたします。

敬具

【クラブ紹介記事 要項】

1. 木曜日発行の「ぐんま経済新聞」にて、国際ロータリー第2840地区の45クラブのクラブ紹介を毎週1クラブずつ行う。
2. 記載項目
 - クラブ紹介(クラブの特徴やトピックス)
 - クラブ会長挨拶
 - クラブ概要(会長・幹事名、事務局所在地、例会情報など)上記項目を600字程度で記述のこと
3. 会長顔写真を掲載
4. フォーマットは下記の通り

	国際ロータリー第2840地区〈群馬〉
	○○○ロータリークラブ
■ 会長あいさつ	■ クラブ紹介
.....	○○会長

記事掲載企画

記事内容：クラブの紹介

原稿(会長の写真を添えて)の提出先：ぐんま経済新聞社 小曾根 要人 様

seisaku@gunkei.com まで

	RC	新聞掲載日 (木曜日)	原稿締切り日 (厳守)
第2分区A	桐生	1/10	12/13
	桐生南	1/17	
	桐生西	1/24	
	桐生赤城	1/31	
第1分区	前橋	2/7	1/24
	前橋西	2/14	
	前橋東	2/21	
	前橋北	2/28	
	前橋南	3/7	
	前橋中央	3/14	
第6分区	富岡	3/21	3/7
	藤岡	3/28	
	安中	4/4	
	藤岡北	4/11	
	富岡中央	4/18	
	碓氷安中	4/25	
	藤岡南	5/2	
	富岡かぶら	5/9	
第5分区	渋川	5/16	4/18
	沼田	5/23	
	草津	5/30	
	中之条	6/6	
	沼田中央	6/13	
	渋川みどり	6/20	

年間行事予定表

開催日		項目	場所
2018年	『疾病予防と治療月間』		
12月	1日(土)	(森田年度) 第1回ガバナー補佐会議	前橋問屋センター会館
	9日(日)	米山記念奨学生選考会面接官 オリエンテーション	ホテルメトロポリタン高崎
	9日(日)	米山学友会忘年会	ホテルメトロポリタン高崎
	15日(土)	(森田年度) クラブ運営セミナー	伊勢崎プリオパレス
	15日(土)	(森田年度) 第1回ガバナー補佐・ 委員長予定者合同会議	伊勢崎プリオパレス
2019年	『職業奉仕月間』		
1月	6日(日)	第3回ガバナー諮問委員会・ GE(森田) 壮行会	伊勢崎プリオパレス
	12~19日	国際協議会(GE出席)	サンディエゴ
	19日(土)	米山記念奨学生 選考会	前橋問屋センター会館
	19日(土)	第1回地区補助金予備審査会	前橋商工会議所
	26日(土)	会員組織強化・女性ネットワーク合同委員会	前橋問屋センター会館
『平和と紛争予防/紛争解決月間』			
2月	2日(土)	(森田年度) 委員会事業計画協議会 (グループ毎)	伊勢崎プリオパレス
	3日(日)	IM(第2分区B)	伊勢崎プリオパレス
	9日(土)	IM(第6分区)	並木苑
	11日(月)	新会員セミナー	前橋問屋センター会館
	16日(土)	第4回ガバナー諮問委員会・ GE(森田) 報告	伊勢崎プリオパレス
	16日(土)	(森田年度) 地区チーム研修セミナー	伊勢崎プリオパレス
	23日(土)	ローターアクト年次大会	高崎
	23日(土)	IM(第3分区)	ホテルグランビュウ高崎
『水と衛生月間』			
3月	2日(土)	米山記念奨学生終了式・歓送会	ホテルメトロポリタン高崎
	3日(日)	IM(第5分区)	プレヴェール渋川
	9日(土)	IM(第4分区A・B)	レストランジョイハウス
	16~17日 (土)(日)	会長エレクト・幹事エレクトセミナー (PETS・SETS)	伊香保 福一
	23日(土)	第2回地区補助金予備審査会	前橋商工会議所
	30日(土)	IM(第1分区)	未定
	28~31日	IA海外研修	台湾
	31日(日)	IM(第2分区A)	桐生プリオパレス

『母子の健康月間』			
4月	13日(土)	(森田年度) 第2回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス
	13日(土)	(森田年度) 第2回ガバナー補佐・ 委員長合同会議	伊勢崎プリオパレス
	14日(日)	青少年交換ホストクラブ 第1回オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	14～18日	規定審議会	シカゴ
	20日(土)	地区補助金最終審査会	前橋商工会議所
	21日(日)	新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	21日(日)	新規米山記念奨学生カウンセラー・ 奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	21日(日)	継続米山記念奨学生 資格審査面談	前橋問屋センター会館
『青少年奉仕月間』			
5月	10～11日	IA海外研修受け入れ	中央情報経理専門学校
	12日(日)	地区研修・協議会	境総合文化センター 伊勢崎プリオパレス
『ロータリー親睦活動月間』			
6月	1～5日	国際大会	ドイツ・ハンブルク
	8日(土)	米山記念奨学生指定校選定会議	ホテルメトロポリタン高崎
	8日(土)	米山学友会総会	ホテルメトロポリタン高崎
	15日(土)	第5回ガバナー諮問委員会	館林市文化会館
	15日(土)	現・新地区役員合同連絡会議	館林市文化会館
	16日(日)	青少年交換受入学生歓迎会・ 夏期交換学生歓迎会	前橋問屋センター会館
	22日(土)	(森田年度) 第3回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス
	22日(土)	(森田年度) 会員増強セミナー	伊勢崎プリオパレス

周年行事予定クラブ

開催日		項目	場所	
2019年	3月	23日(土)	前橋中央ロータリークラブ 25周年記念式典	ロイヤルチェスター前橋
		25日(月)	高崎ロータリークラブ 65周年記念式典	ホテル グランビュー高崎
	4月	6日(土)	高崎セントラルロータリークラブ 20周年記念式典	ホテル グランビュー高崎
		20日(土)	館林東ロータリークラブ 35周年記念式典	レストラン ジョイハウス
		23日(火)	渋川みどりロータリークラブ 25周年記念式典	プレヴェール渋川
	5月	19日(日)	沼田ロータリークラブ 60周年記念式典	ホテル ベラヴィータ
			前橋西ロータリークラブ 55周年記念式典	未定
	未定		藤岡ロータリークラブ 55周年記念式典	未定
未定		伊勢崎東ロータリークラブ 25周年記念式典	未定	

新会員紹介



氏名 阿部 文明
クラブ 前橋南
入会日 2018年12月05日
職業分類 ソフトウェア業
勤務先 (株)トムス
システム
役職 代表取締役 社長
推薦者 金山 明永



氏名 中村 光孝
クラブ 桐生
入会日 2018年12月10日
職業分類 外装工事
勤務先 エクステリア桐栄
役職 代表
推薦者 丹羽 あゆみ



氏名 木村 明宣
クラブ 桐生西
入会日 2018年11月30日
職業分類 司法書士
勤務先 木村総合
法務事務所
役職 司法書士・
行政書士
推薦者 中島 俊太郎



氏名 松村 卓哉
クラブ 高崎南
入会日 2018年10月30日
職業分類 商業銀行
勤務先 群馬銀行
高崎田町支店
役職 支店長
推薦者 松本 金弥
清水 正郎



氏名 高橋 裕之
クラブ 高崎南
入会日 2018年11月06日
職業分類 建設業
勤務先 日建
フレメックス(株)
役職 専務取締役
推薦者 松本 金弥
川鍋 太志



氏名 高橋 邦祐
クラブ 太田
入会日 2018年11月22日
職業分類 幼稚園
勤務先 (株)みその
アクティブ
役職 代表取締役
推薦者 竹内 正幸



氏名 廣田 悦夫
クラブ 太田
入会日 2018年11月22日
職業分類 建築機材販売
勤務先 広田機材(株)
役職 取締役
推薦者 竹内 正幸



氏名 大嶋 茂
クラブ 藤岡南
入会日 2018年11月02日
職業分類 高齢者福祉
勤務先 社会福祉法人
藤野園
役職 法人本部長
推薦者 古市 和男

文庫通信 (374号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

日本のロータリーの歴史より

ロータリーの理想と友愛 (THIS ROTARIAN AGE) ポール P. ハリス著；米山梅吉訳 -	2007	295p
我が自叙伝 (THE HERBERT J. TAYLOR STORY) ハーバート J. テーラー著；菅野多利雄訳 -	1990	219p
ロータリー・モザイク (ROTARY MOSAIC) ハロルド T. トーマス著；松本兼二郎訳 -	2006	327P
ロータリー通解 (A TALKING KNOWLEDGE OF ROTARY) ガイ・ガンディカー著；小堀憲助訳 -	1989	69p
ロータリー解析 (THE MEANING OF ROTARY) ヴィヴィアン・カーター著；田中毅訳 -	1999	99p
シェルドン…忘れ得ぬその名 (SHELDON…A NAME TO REMEMBER) ジョンO.ナットソン著；神崎正陳訳 -	1998	12p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫	〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階 TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館 = 午前 10 時～午後 5 時 休館 = 土・日・祝祭日
---------	---



出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
45	2112	2137	2146	9	157	78.56

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	4	70.27	124	122	122	0	11
	前橋西	4	80.18	58	58	58	0	5
	前橋東	4	70.21	51	53	53	0	5
	前橋北	5	87.12	71	73	73	0	2
	前橋南	3	93.18	44	44	44	0	2
	前橋中央	4	85.19	26	26	25	-1	8
	合計		81.02	374	376	375	-1	33
第2分区A	桐生	4	79.03	61	66	66	0	9
	桐生南	4	61.19	35	36	36	0	4
	桐生西	4	89.88	63	62	63	1	9
	桐生赤城	5	77.76	42	43	43	0	8
	合計		76.97	201	207	208	1	30
第2分区B	伊勢崎	4	90.15	84	84	84	0	3
	群馬境	5	81.82	25	26	26	0	2
	伊勢崎中央	5	81.58	85	87	87	0	6
	伊勢崎南	3	68.82	30	31	31	0	1
	伊勢崎東	4	86.37	32	33	33	0	1
	合計		81.75	256	261	261	0	13
第3分区	高崎	4	85.30	130	136	136	0	14
	高崎南	4	71.66	73	74	75	1	9
	高崎北	4	72.28	72	71	72	1	0
	高崎東	5	68.69	42	43	43	0	3
	高崎シンフォニー	4	76.71	43	44	44	0	4
	高崎セントラル	4	95.77	36	36	37	1	0
	合計		78.40	396	404	407	3	30
第4分区A	太田	5	81.62	73	74	76	2	3
	太田西	4	86.87	19	18	18	0	2
	太田南	3	81.06	47	47	47	0	3
	新田	3	87.50	31	28	28	0	2
	太田中央	5	84.07	55	54	54	0	3
	合計		84.22	225	221	223	2	13
	第4分区B	館林	4	85.23	53	55	55	0
大泉		5	75.17	34	34	34	0	3
館林西		4	85.52	21	20	20	0	1
館林東		4	80.88	21	20	20	0	3
館林ミレニアム		5	89.86	27	27	27	0	1
合計		83.33	156	156	156	0	10	
第5分区	渋川	4	91.53	64	64	64	0	6
	沼田	4	81.10	69	72	72	0	3
	草津	3	57.70	15	15	15	0	1
	中之条	4	85.71	21	21	21	0	1
	沼田中央	5	84.21	45	45	47	2	3
	渋川みどり	4	71.88	36	37	37	0	2
	合計		78.69	250	254	256	2	16
第6分区	富岡	4	93.79	44	45	46	1	4
	藤岡	4	78.73	52	55	55	0	2
	安中	4	60.19	53	54	54	0	3
	藤岡北	4	84.16	15	15	15	0	1
	富岡中央	4	86.17	35	35	35	0	1
	碓氷安中	4	80.00	11	10	10	0	0
	藤岡南	3	89.48	13	13	14	1	0
合計		79.75	254	258	260	2	12	

2018年11月末現在

コラム

コラム〈みんなの広場〉—皆様の投稿をお待ちします—

これから1年間ガバナー月信でお付き合いをお願いしますが、少しは為になる気持ちのほぐれる話を一話ずつこのコラムに書きたいと思います。このコラムにロータリアンの皆さんが投稿してくださり、意見交換の場になればと思います。

私は、英米文学と英語学の教員としてスタートしましたが、後年になると、隣接の学問分野に関心が湧き、異文化理解—日本人と外国人、言語と国民性の相違などを研究しました。僧侶でもありますので、仏教のみならずほかの宗教へも関心があります。

このコラムでは、私の随想〈徒然に思い浮かぶこと〉とはいえ、ロータリー活動に関係のあることを異文化理解・仏教の教えの観点から書かせていただきます。

【第7話】ガバナー公式訪問例会講話——奉仕は人を育てる

8月21日の中之条RC訪問を始めとして、12月5日の大泉RC訪問をもって、45クラブのガバナー公式訪問を終えることができました。これ偏に分区担当ガバナー補佐、常に随行して下さった小暮雅丈幹事、分区担当副幹事、殊には、われわれを心温かく迎えて下さった各クラブの会長・幹事様をはじめとする会員各位のお陰であります。衷心より感謝申し上げます。

例会のガバナー講話で可能な限り同じ話をしようと決めていましたが、時間の都合上思い通りにはいきませんでした。話の要点はまだ記憶にあります。1年もすると忘れてしまうと思います。ありがたいことに太田RCで話したことのほぼ全文を「11月22日3011回例会会報」に掲載していただきましたので、それを借用して、時間の都合上話せなかったことを追加して、自分の思い出としてまとめさせていただきます。公式訪問の日に欠席された方にはお読みいただければ幸いです。

バリー・ラシンRI会長テーマ：「インスピレーションになろう」Be the Inspiration を受けての地区テーマと地区目標について

国際ロータリーのバリー・ラシン会長は、昨日まで4日間(11月18日より21日)神戸ポートピアホテルで開催された第47回ロータリー研究会に来られ、一緒でした。会長に就任するにあたり、今年のテーマとして「インスピレーションになろう」Be the Inspiration を1月21日の国際協議会で世界の530余の地区ガバナーに発せられました。それは皆さまのお手元の週報にも記載されております。これに基づいて2840地区2018-19年度のテーマを掲げなければなりません。そこでどうしようかと考えたのですが、地区には地区の長期ビジョン《2017-20》がございます。それは、こちらにおいで竹内PGをはじめとするPGで構成された長期戦略委員会が策定したものです。



そこで、RI会長の方針と地区の方針を踏まえて、私は今年度の地区目標を10項目を決めさせていただきます。それを纏めて一言で言うならば、「先ず、クラブを元気にしましょう」ということです。クラブ活動を皆さんが楽しんで元気なロータリークラブを作りましょう。楽しんでいる皆さんの姿を見れば会員が増える方向に必ず向かうと信じています。我々自身が楽しいと思わないクラブに誰が入会するでしょうか、誰も入会しません。先ず、自らが楽しいクラブだと思えるように努力する、これが大切だと思います。そして、その結束力を持って社会に対して奉仕活動をししましょう。その奉仕活動が社会に認められれば、ロータリークラブは良いことをやっているとして社会から評価され、公共イメージを上げること、そして認知度を上げることにつながると私は考えております。しかしながら、社会奉仕をすることが我々の最終目的ではありません。奉仕を通じて人格形成が成った時、個々のロータリアンは真のロータリアンになれるのだと思います、これが先程歌った「奉仕の理想」の理想にあたるものだと思います。

ラシン会長は、皆さんご承知の波のマークを今年度のマークにしました。ラシン会長はバハマ出身の方です。バハマの国旗にはこのブルーも含めて三色が入っています。これはカリブ海の青い海の様子だと思いますが、朝日に輝く波が打ち寄せてくる様だと思います。バハマは低地帯の島々からなる国で、ラシン会長の話によると、もしかすると温暖化が進むと水没してしまうかもしれない海拔2~3メートルの島国だそうです。この絵は朝日でなく夕日で、波に国土が水没する憂いを暗示しているとも読めます。

この波は、打ち寄せて来てこちらの岸にドーンと当たる。潮が引いて行って向こう側の島の岸に当たります。そしてこの波は、カリブ海を出て大西洋に、それからずっと廻って太平洋に亘り日本にまで伝わります。このように、このインスピレーションというものは、「こうしよう、ああしよう」という思いを一人が発し、それに共鳴・共感する人がいれば、それは世界中に伝わります。この波はまさにインスピレーションの波動を象徴しています。

皆さんのクラブでいえば、会長が「こうしよう・私はこういった方針で進みたい」とインスピレーションを発すれば、この波動は各会員の心に達して、会員はそれに応えて、「よし、やろう」と行動を起こします。Take actionとロータリーでは言っていますが、インスピレーションを受けて行動を起こす、これが我々一人ひとりの務めになるわけです。最終的には、「ロータリーはこういったことを考えます」「こういった活動をしていきます」ということが社会に受け止められ、社会がその方向に向かって新たな行動を起こすことになれば、これが大きな波のうねりになるわけです。波は以心伝心創造的的刺激であります。

ロータリーのシンボルマーク〈歯車〉について

私は、2840地区の長期戦略計画を踏まえて自分の方針として「**クラブを元気に、世界に奉仕を、みんなで回そうロータリーの輪**」としました。英語で Energize our Clubs (我々の45クラブを元気にしましょう)and Serve the World (そして、世界に奉仕しましょう) engaging Rotary with Society (ロータリーと社会(の歯車)をしつかりかみ合せて)と添え書きをしました。

こちらのロータリー・フラッグに見る通り、ロータリーのマークは歯車です。真ん中に車軸があり、空回りしないように軸に楔くさびが打ってあります。その軸から6本の柱が出て車輪につながっています。そして車輪には歯が出ていますが何本あると思いますか。24本あります。この意味を解する前に、昔のシンボルマークを考えてみましょう。1905年(明治38年)2月23日にロータリークラブが出来たわけですが、ポール・ハリスと他3名の方でお互いの事務所を昼休みに訪問して親睦例会を持つということで始まりました。当時は馬車で廻っていたそうです。しかし何週間もしないうちに、お互いの事務所でやるのはいいけれど昼飯に不都合だということで、7回以降はホテル(Homer House)で会合をもつようになり、職場例会は6回で終わったそうです。最初は、お互いの会社を馬車で廻るということで、馬車の車輪をマークとして使ったそうです。馬車の車輪ですから、本来このような歯車はないわけですね。それから、ロータリーが奉仕活動をしなければいけないのではないかと、自分たちが異業種の者の親睦と情報交換の場だけではいけないという思いから社会奉仕をするようになったわけです。それに合わせて、その後、この歯車に変わったということです。ちなみに最初は、この楔も無かったそうです。

このマークはよく出来ていると思います。例えば、この車軸の部分がRI本部の考え方だとします。つまりこれが動力源です。車軸から伸びている6本は、6大陸を表すそうです。そして24の歯は、24時間を表しています。つまり、ロータリークラブは全世界にあり、ロータリーが24時間、世界の何処かで社会に対して活動していることを意味しているそうです。

初期のロータリー

ロータリーの精神は「親睦」と「奉仕」。Paul Percy Harrisは37歳の時、他3人とRCをスタートする。(1905、明治38)

○ 第1回例会(1905. 2. 23) 一業種一人の相互扶助の新しいクラブ構想、会場を会員の職場を順に回る職場例会(ロータリー呼称のいわれ) ハリスは厳格な祖父母に3歳から育てらる。祖父母の教育【寛容・思いやり・優しさ・尊敬の念】と村人が職業を通じて楽しく暮らす姿が記憶に残り、後のクラブ構想の発端となる。弁護士になる前の海外生活により職業と親睦の偉大さを知る。

○ 第2回例会 事業所の代表役員であること。

○ 第3回例会 会員9名、会長は1年交代。4回連続欠席で会員資格失う。会費なし、経費は悪行罰金で賄う。何事も快託。シール会員が石炭業界の話をしたことが「卓話」の始まり。

○ 第4回～6回 食事をとる。7回以降食事の都合上ホテル(Homer House)で会合を持つようになる。職場例会は6回で終わる。

- ・ 初期のロータリーは会員になることによって、事業上のメリットが得られる「親睦(fellowship)と相互扶助(reciprocal help)」のBusiness Circleであった。

- ・ シカゴクラブの定款(1906)

1章 クラブ会員の事業上の利益の増大[原価で提供]

2章 クラブの親睦の増進

<奉仕の概念> 1907年Donald Cater(特許弁護士)が「奉仕の概念」をもたらす。「職業を通じて社会に貢献すること」(社会奉仕) が第3章に追加された。

- ・最初のロータリーの奉仕活動：シカゴの中心地ループ地区に行政を動かし公衆トイレを作った。(1909)
- ・会員は「寛容で親睦と友情の精神」にあふれた人でなければならない。これがクラブ理念であり、善意と寛容と理解から「奉仕」へと発展していく基礎である。

社会との連携が大切

ロータリーの歯車がただ一つ孤高の高みで回っているだけでは意味は無いと思います。太田ロータリークラブで行っているように社会に対する貢献、社会に何らかの役に立っている必要があるわけです。ですから、このマークには描かれていませんが、このロータリーの歯車の周りには、見えない社会の歯車が複雑に噛み合っている、これが世の中だと思います。時計の裏蓋を開けると複雑な歯車がありますが、それと同じですね。我々は出来ればその動力源となる歯車の一つでありたいわけです。そして、社会の歯車としつかり噛み合っていないと、我々は空回りすることになります。ただただ輝かしいロータリーの胸のバッジだけでは済まないと思います。ロータリーはどういったクラブですか、どういった活動をしているのですかと、ここにいらっしゃるインターアクターのような高校生に聞かれた時にどう答えますか。難しいことを言っても通じないです。安易には答えられません。こうだといった答えは簡単には出ません。我々は自分だけがぐるぐる回る歯車だったら、どんなにキラキラ回ろうと、どんなに金持ちの人の集まりであろうと、世の中から見たら笑い物です。

世の中の人々が我々をどう見ているのか、そこから考えなくてはなりません。5月の鯉のぼりの竿の先に風車が付いていますが、あれはキラキラ回って真に綺麗ですが、それと同じように見られたら大変なことだと思います。そうではなく、我々は、世の中の歯車と一つになって、軋まないようにくれた油にまみれて、世の中の人と親交を分かち合う、そういう歯車でなければならないと思います。自分たちだけが格好良くても何にもならないと思います。笑い物だと思います。そういう意味で若い人にロータリーとは何かを説明することは容易なことではありません。まあ、いろいろな説明があろうかと思いますが、奉仕団体ですと言うのも、親睦団体ですと言うのも不十分だと思いますし、慈善団体でもありません。奉仕活動を自ら実践して、奉仕の心(理想)を求めて人格形成し、それぞれの職業において、一社会人として社会においてやるべき責務を実践することだと言えましょう。

いずれにせよ、奉仕をサービス(service/serve)と言いますが、ロータリーでは、奉仕活動を5つに分けて五大奉仕と言っています。大別すれば、クラブに対する奉仕(クラブ奉仕、協力)と社会に対する奉仕活動です。場所・対象によって分類して、職業上の奉仕を職業奉仕、地元地域社会に対する奉仕を(地域)社会奉仕、外国に対する奉仕は国際奉仕、若い青少年教育に対する奉仕は青少年奉仕、これにはインターアクト・ローターアクト・米山記念奨学金・交換留学生も入ります。これらを合わせて五大奉仕と言っているわけです。奉仕と言いますと人の為にというイメージがありますが、一生懸命にやることや貢献することを奉仕活動と言いますから、もっと幅広く考えてよろしいかと思えます。

クラブ奉仕は、クラブ内の親睦とクラブの円滑な運営のためにする奉仕活動であって、第一に会員として果たすべきは出席義務だと思います。これが会員全てに課せられた奉仕活動の原点だと思います。こちらのクラブでも出席率を上げるために大変御苦労なさっているというお話を伺いましたが、今の時代ですから100%出席は仕事上不可能なことだと思いますので、そこまで求めることはできないと私は思いますが、しかし、基本的にロータリアンの義務は例会に出席することだ、これだけは忘れてはいけません。今日入会されたお二方には、是非、例会出席がロータリーの基本的義務だということだけをご理解いただきたいと思えます。

ドナーと旦那と布施〈物施・身施・法施〉について

社会に対する奉仕活動ですが、我々は奉仕というとボランティア活動という言葉をよく耳にします。自発的に自らの意思で行う奉仕のことをボランティアと言いますので、一般的には、奉仕活動と言えば、肉体的な奉仕、労力による奉仕を意味すると思います。金品をあげるのを奉仕活動と言うことに抵抗を感じる人もいますし、そちらは寄付・寄贈となろうかと思っています。そこで、ロータリアンの中には、奉仕という訳語を使わずに、サービスという言葉を使う人もいます。

自発的に寄付をする人を英語でドナー(donor)と言います。血液のドナーとか、アイ・バンクのドナー等、色々な物を寄付する人をドナーということは、皆さんご承知の通りです。ロータリー財団の大口寄付者のことをメジャードナーと言っていますが、ドネーション(donation)寄付すること、ドネイト(donate)寄付する、ドナー(donor)寄付する人、と言いますが、この言葉は、ずっと昔を辿ると、英語の先祖の一番元となった言葉はインド・ヨーロッパ語族(Indo-European language family)すなわち祖語の時代に既に寄付を意味するドナーという言葉がありました。英語もフランス語もドイツ語もロシア語もアラビア語もヒンズー語も元は同じです。インドではサンスクリットという言葉が紀元前から話されていたのですが、「ドナー」ではなく「ダナー」と言っていました。発音が少し違うだけで同じことです。

この言葉が仏教を通じて日本に入ってきたわけですが、中国人がダナーという言葉で中国語に訳す時に、意味を訳さないで音写(音を漢字にあてる)して、ダは元旦の「旦」、若しくは檀家の「檀」、そしてナーは那覇市の「那」という漢字を当てました。そして日本では、「ダンナ」と発音することになったわけです。よく、ご主人のことを旦那様と言いますよね。旦那というのはスポンサーという意味でドナーのことです。ですから金を稼いで寄付しない人は旦那様ではなくなってしまう。奥様から旦那と言われる人は、それなりに一生懸命働いて生活費を稼ぐ人ということになります。昔は特に、今もそうだと思いますが、ロータリークラブに入会する人は、地域の旦那衆、名士だったのだと思います。そういった意味では、我々は旦那様と言われるのにふさわしい寄付者であり人格者でなければならないのだと思います。

「旦那」という言葉は、仏教書を見ますと「布施」という意味とあります。布施というのは布を施すと書きます。昔、殿様が家来に、あるいは一般庶民に対して御褒美をくださる時は、中国や韓国をみても、布地(反物)が使われました。江戸時代には、絹の織物は「呉服」と言い、木綿や麻の織物は「太物」と言っていたようです。ともかく、布はお金と同じように扱われました。布地であげる、仏教では布で供養する、布を施すということで布施という言葉が出てくるわけです。布施には、仏教書で調べてみますと詳しく分類がありまして、お金や物をあげることを「物施」と言います。ロータリーでは、お金や物をあげるだけでは駄目ですよ、汗をかく仕事をしますか、と地区の財団委員会の会議で聞くことがよくありますが、自分の身体を動かして奉仕することをロータリーでも重んじています。これを「身施」と言います。もう一つは、教えを施す、困っている人の悩み事を聞いてあげる、あるいは何かのやり方を教えてあげるようなことから、難しい教育に至るまで全て施しであり、これを仏教用語で「法施」といいます。ロータリーでいいますと物品をあげること、身体を使った奉仕活動、米山記念奨学金をはじめとする教育的な奉仕活動、医学上の奉仕活動、これらをロータリーは全て偏りなく行っています。

超我の奉仕がロータリーマインドを育てる

ロータリーでは超我の奉仕・善意の奉仕というロータリー用語をよく聞きますが、奉仕というのは人の為になることで、自分のことはさておき、人の為に尽くすことなんだと思います。自ら進んで行う奉仕でなければなりません。仏教では「進施」と言います。ともかく、我々の奉仕活動は無償の奉仕であるべきであり、お礼を求めてはいけない、これだけは確かだと思います。それと奉仕活動は相手のニーズに応えた奉仕活動でないとの的外れになり役に立ったことにはならないと思います。

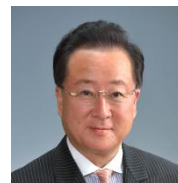
今日食う魚(食料・生活必需品)が欲しい人もいます。魚は自分で獲るから網(設備・道具)をくれという人もいます。網はいらないから獲り方(教育・技術指導)を教えてくれという人もいます。相手のニーズに的確に応えるためには、スポンサー側として研究が必要です。

どうぞ有意義な奉仕活動を続けていただきたいと思います。そして、奉仕活動が全てではなく、それを通じて得られる自分の心の教育、それがロータリーの奉仕の理想です。

ロータリーは期限のない生涯教育の学校のようなものだと思います。その学校に入学した我々は机の上での勉強と実習をしているのだと思います。ですから色々な寄付金を集めますが、それは実習費だと思って下さい。3年後に1/4、グローバル事業をすれば寄付額以上のものが返ってきます。そう思えば安いものだと思います。どうか広い心で結局は自分の人間性を磨く場、人格形成の道場、ロータリーマインドの養成所なのだとご理解いただければ、奉仕の理想に一步近づけるのだと思います。そういった意味で、これからも一緒に頑張りたいと思います。本日は長時間ご清聴いただきありがとうございました。

森田ガバナーエレクトからのお知らせ

新年のごあいさつ並びに
地区チーム研修セミナー(2/16(土))のご案内



ガバナーエレクト
森田 高史(伊勢崎RC)

新年あけましておめでとうございます。
平成31年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

ロータリアンの皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

12月に行われました、第1回ガバナー補佐会議(12/1(土))、クラブ運営セミナー(12/15(土))、第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議(12/15(土))におきましては、クラブの会長エレクト、幹事エレクトの皆様、また、地区役員の皆様におかれましては、年末ご多忙の中ご出席頂きまして、誠にありがとうございました。

ご出席頂きました皆様は、来るべき2019-2020年度の地区とクラブにおける同期責任者の皆様でいらっしゃいます。

どうかこれから1年半余りとなりますが、お互いに協力し合い、より良き地区運営とクラブ運営をしたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、宮内年度もいよいよ後期に入り、私は、ガバナーエレクトとして、1月12日(土)~1月21日(火)、日本の34地区のガバナーエレクト夫妻とともに、米国サンディエゴの国際協議会に出席してまいります。

今日まで、ガバナースタッフの協力を得て何とか準備をしてまいりましたが、不安で一杯という実情でありますので、地区内会員の皆様におかれましては、本年度も何卒よろしく願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

[地区チーム研修セミナーのご案内]

日 時：2019年2月16日(土) PM2:00~PM5:00会議
PM5:20~PM7:00懇親会

場 所：伊勢崎プリオパレス
対象者：地区役員・地区研修委員会委員

森田ガバナーエレクト年度 地区主要行事予定表

2019	2	2		土	地区委員会事業計画協議会(グループ毎)	伊勢崎プリオパレス
		16	午後	土	地区チーム研修セミナー	伊勢崎プリオパレス
	3	16~17		土~日	会長以外・幹事以外研修セミナー(PETS・SETS)	伊香保 福一
	4	13	午前	土	第2回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス
		13	午後	土	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	伊勢崎プリオパレス
	5	12	終日	日	地区研修・協議会	境総合文化センター・伊勢崎プリオパレス
	6	22	午前	土	第3回ガバナー補佐会議	伊勢崎プリオパレス
		22	午後	土	地区会員増強セミナー	伊勢崎プリオパレス

(森田年度)第1回ガバナー補佐会議

開催日：平成30年12月1日(土) 14:30～16:30

場 所：前橋問屋センター会館

報告者：地区副幹事 加藤 学

国際ロータリー第2840地区2019-20年度、森田ガバナーエレクトにおける初めての公式会議である第1回ガバナー補佐会議が開催されました。

最初に森田ガバナーエレクト、竹内地区研修リーダーのご挨拶、次年度ガバナー補佐8名の自己紹介と続き、次年度地区副幹事も自己紹介を行いました。

その後、森田ガバナーエレクトより地区運営についての詳細な説明を受け、地区の使命はクラブの活性化とした上で、「連続性の確保」「より良き変化を生む運営」「双方向協議」と3つのキーワードを話され、ガバナー補佐は地区の要であり、目的達成の実行者であると締めくくりました。2019-20年度地区組織・行事予定は、新井地区幹事より説明がありました。そして、当会議の主題であるガバナー補佐の役割について、竹内地区研修リーダーから次年度ガバナー補佐へ向けて、心のコモったお話をお聞きしました。

最後に森田ガバナーエレクトから「クラブ現況指標について」会員数順と分區別順の資料をもとに数字を用いて解説をいただき、次年度ガバナー補佐全員から質問や感想が述べられ、定刻に会議を終了することができました。

【会議次第】

ガバナーエレクト挨拶

地区研修リーダー挨拶

ガバナー補佐自己紹介、地区副幹事紹介

2019-20年度地区運営について

地区組織・行事予定について

ガバナー補佐の役割について

クラブ現況指標について

質疑応答及び協議

司会：地区副幹事

関 徹也

ガバナーエレクト

森田 高史

地区研修リーダー

竹内 正幸

ガバナーエレクト

森田 高史

地区幹事(次年度)

新井 良和

地区研修リーダー

竹内 正幸

ガバナーエレクト

森田 高史





公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース



ハイライトよねやま

2018.12.13

Vol.225

秋の外国人叙勲で米山学友が受章

11月3日、平成30年秋の外国人叙勲が発表され、元啓明大学校副総長・同日本学科名誉教授、元韓国日本協会会長の米山学友、呂博東さん（韓国／1978-80／水戸RC）が、旭日中綬章を受章しました。筑波大学修士課程在学時に米山奨学生となり、研究に勤しんだ呂さんは、博士号を取得して帰国。以降、従来の日本語・日本文学中心の日本研究を超え、歴史・文化、経済、社会など多分野から総体的に日本を捉える日本学を広め、学会を立ち上げて多くの日本研究者を育てたほか、韓日民間親善交流協会を設立するなど、韓国における日本研究の発展と対日理解の促進に多大な貢献を果たしました。

栄えある受章おめでとうございます！

【呂博東さんからの謝辞】

このたびの受章は、身に余る荣誉であり、今まで巡り合うことができた、たくさんの素晴らしい皆様方のご協力と恩恵の賜物と、感謝に耐えませぬ。修士課程2年間勉学に励むことのできる奨学金を与えてくださったロータリー米山記念奨学会と水戸ロータリークラブの皆様ほか、ここに掲げ挙げることのできないほど多くの皆様様に多大なご恩を被りましたことを忘れることはできません。皆様にごの荣誉をお返ししたいと思います。



2019年の年賀状を学友がデザイン



当会事務局では、評議員、理事、地区米山記念奨学委員長、学友、他団体などへ毎年約4,600枚の年賀状を送っています。今回は、マレーシア出身の米山学友、ケリン・スーさん（2014-16／新城RC）

が年賀状のデザインをしてくださいました。**ケリンさんからのメッセージ**：イノシシと門松と花火で構成してみました。門松の隣に、2019年を代表するイノシシが嬉しく新年を迎えています。海外ではお正月を迎える際、花火を打ち上

げることも多いです。米山は日本だけでなく、世界の方々も一緒になっているので、日本のお正月を代表する門松と、世界のお正月を代表する花火と一緒に描き、皆で一緒に2019年を迎えたいという思いを込めて描きました。



寄付金速報 一年内の送金はお早目に

11月までの寄付金は前年同期と比べて0.6%減（普通寄付金:0.9%増、特別寄付金:1.3%減）約430万円の減少となりました。当財団設立50周年で寄付実績の良かった昨年度とほぼ同額にまで回復したのは、匿名の大口寄付があったためです。また米山月間で集めた寄付を送

金されたクラブも多かったです。皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。今年も残すところあと半月余りとなりました。確定申告を予定されている方は12月28日（金）までに当会口座に着金した特別寄付金について、翌年1月末までに確定申告用領収証を発行いたします。

今年も盛り上がりました—韓国米山学友会総会—



11月17日、ソウル市内で韓国米山学友会の定期総会が開催され、学友約65人のほか、韓国・日本のロータリアン、台湾・関西から学友会役員が参加して、約80人の盛会となりました。第1部では今年隔月で開催されたセミナーやワークショップ、ボランティア活動、同学友会が推進する日本人留学生支援の奨学事業を拡

大するための活動について報告されました。第2部では、日本人留学生3人への奨学金授与式をはじめ、学友会顧問の韓根植氏が作曲した「ロータリー米山の夢」のお披露目や伝統芸能サムルノリの祝賀公演、恒例の景品抽選で盛り上がりました。「今年帰国して初めて参加したが、こんな素晴らしいネットワークができていくことを感じてうれしい」などの声も聞かれ、積極的に活動したことを今後に生かし、さまざまな分野で活躍するメンバーが互いに助け合える環境をつくり、学友同士の連携・連帯を強めていくことを皆で確認しました。

(取材協力：韓国米山学友会広報委員会)

台湾米山学友会総会 — 第8代理事長決まる —

今年台湾米山学友会が発足して35周年です。12月1日に開かれた年次大会には、学友や家族、国内外からのゲストら総勢120人以上が集まり、当会



からは齋藤直美理事長、若林紀男副理事長、武田和夫常務理事、水野 功常務理事が参加。

大会では、呉憲璋理事長より任期最後の挨拶や、台日ロータリー国際親善会の李兆祥理事長から祝福の言葉が贈られたほか、学友を代表して許國文元理事長と林華明パストガバナーがスピーチをしました。また、同学友会が支援する

日本人奨学生の5人も、中国語と日本語でそれぞれ自己紹介をしました。続いて、齋藤理事長と徐重仁初代理事長が35周年の記念ケーキにナイフを入れ、

喝采を浴びました。

今大会では役員改選が行われ、投票の結果、第8代理事長に郭錦堂さん(1984-86/相模原中RC)、幹事長に黄秀婕さん(1996-98/盛岡北RC)が就任し、そのほか常務理事・理事16人、監事5人が選ばれました。来年1月から新役員での体制がスタートします。

申告用領収書は来年1月にお送りします

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は**税制優遇**を受けることができ、「**税額控除**」か「**所得控除**」いずれか**有利な方式を選択**できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月28日(金) 当会着金分まで**が対象です。

米山記念奨学会事務局は、12月28日(金)~1月6日(日)の間休業させていただきます。来年は1月7日(月)より通常業務となります。

ガバナー事務所よりお願い

ガバナー月信に関して

- 原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 miyauchi@rid2840.jp まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月 15 日です。(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。)新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。
- この月信のPDFデータを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしく願いいたします。

表紙写真解説：雷電神社

場所・概要

板倉町にある雷電神社は、関東一円、特に利根川中上流域に点在する雷電神社の総本宮で、創建は聖徳太子によるものです。延宝2年(1674年)には上州館林藩主・徳川綱吉公の命により社殿の大改修が行われ、以後、徳川三ツ葉葵の紋章の使用を許されています。境内は、ケヤキ、カヤ、エノキ、シラカシ等の豊かな自然を有し、約1.17ヘクタールが群馬県緑地環境保全地域に指定されています。また、雷電神社は社殿、奥宮、末社八幡宮稲荷神社からなり、社殿と奥宮は群馬県の重要文化財に、末社八幡宮稲荷神社は県内最古の木造建築物とされ、国の重要文化財に指定されています。